

私は議案第 32 号令和 2 年度野田市一般会計補正予算（第 11 号）に対し、日本共産党を代表しまして、反対討論を行います。

この補正予算には、我が党が求めてきた、学校のトイレ整備費や、今後起り得る災害に対しての老朽化した施設の整備費、また、コロナ対策費として、公共施設のトイレ手洗い場等自動水洗化工事費などが入っており、大いに賛成とするところです。

しかし、我が党が一貫して反対しているマイナンバーに関する費用や、会計年度任用職員が計上されております。

会計年度任用職員は 1 年契約であり、国が示す働き方改革と逆行するものです。コロナ禍、非正規問題が続いています。様々な給付金をもらえない人々がまだまだたくさんいらっしゃいます。

公務は市民にとって、最後のセーフティーネットです。職員が非正規雇用の会計年度職員であることは、市民の暮らし、安全を守るためには大きな影響が出てまいります。

以上のことから、議案第 32 号令和 2 年度野田市一般会計補正予算（第 11 号）に反対いたします。